



声をかけながら放流しました

6月1日、峰浜小学校の4年生が目名湖地区の水沢橋のたもとの水沢川でアユの稚魚を放流しました。
地域活動に協力する心を養うとともに、地域の自然と生き物に触れながら自然を大切にする心情と地域への愛着を育てることを目的に「岩子桜の里」(佐々木慶夫会長)の協力を経て毎年実施されています。
この日は天気にも恵まれ、参加した児童18名は用意されたアユの稚魚約6千匹を、それぞれバケツに取り分けてもらい、元気に育てと願いを込め、優しく放流しました。
児童からは、「大きく成長してほしい」などの感想が発表されました。

7月1日、第71回「社会を明るくする運動」推進委員会の会員が来庁し、町長へ内閣総理大臣メッセージが手渡されました。
メッセージは「安全で安心な国づくりにおいても、他者への思いやりを基本とし、立ち直ろうとする人を地域の輪に迎え入れて再出発を支え、誰もがやり直して輝ける、誰一人取り残さない社会を構築することが重要」といった内容です。
この運動は、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をキヤッチフレーズに7月1日から1カ月間、実施しています。



犯罪や非行を防止する運動を展開します

元気に育てと願いを込めて
水沢川アユの稚魚放流

7月は強調月間です
社会を明るくする運動



フクエさんの100歳をお祝いしました

6月20日、佐藤フクエさん(カッチキ台)が100歳のお誕生日を迎え、町から寿詞と祝金が贈呈されました。
フクエさんは、5人兄弟の4番目の長女として阿仁町で生まれました。22歳の時に八森町茂浦へ嫁ぎ、結婚後は2男2女に恵まれ、夫と一緒に林業に従事していました。当時から歌が好きで「八森小唄」を作詞作曲し、歌っていました。松波苑へ入居してからも、他の入居者へ唄を歌ってくださいます。「長生きの秘訣は」と伺うと、「食べ物に気を付けて自分で自分の体を大事にすること」と話されました。
これからも末永く元気で過ごしてください。

佐藤フクエさん(カッチキ台)が
満100歳を迎えられました

7月1日、地域おこし協力隊として吉田真己さん(青森市出身)に委嘱状を交付しました。
地域おこし協力隊とは、過疎化や高齢化の進んだ地域に、地域外からの人材を受け入れ、地域活性化に向けた活動に取り組んでもらうものです。
このたび、委嘱された吉田さんは定住・移住コンシェルジュとして、定住・移住に関する相談体制の充実や八峰町の魅力の情報発信などの活動を行っていきます。
吉田さんからは「これからの活動にわくわくしている。自分自身も楽しみながら、町が元気になるよう全力で活動していきたい」と抱負が述べられました。



地域おこし協力隊に任命されました

地域おこし協力隊に
吉田真己さんを委嘱

虫歯 なかつたよ

6月2日、3歳児健診が行われ、虫歯のなかった子どもは6人でした。これからもしっかり歯を磨いて虫歯に気をつけましょう。



石山 怜羽ちゃん
(八森1)



福山 惺南ちゃん
(水沢)



鈴木 みなみちゃん
(カッチキ台)



鈴木 海くん
(石川)



山口 あこちゃん
(中浜)



小川 琉奈ちゃん
(三ツ森)

八峰消防署からのお知らせ 夏休み期間中の火災予防および事故防止について

《火遊びによる事故が増加中！ 夏休みに気をつけて！》
子ども達にとって待ちに待った夏休みがやってきます。夏休みは学校や授業から解放されて、学校以外での様々な体験ができる機会です。一方で子ども達の気も緩みがちになり、思わぬ事故に巻き込まれる心配があります。事故がない楽しい夏休みを過ごせるように、下記の注意事項を守りましょう。



- 1 家の近くや燃えやすい物のある場所で花火遊びをしない
- 2 花火に書いてある注意事項を守る
- 3 花火は必ず大人と一緒に遊ぶ
- 4 マッチやライターを持ち歩かない
- 5 子どもの手の届くところにマッチやライターを置かない



※保護者の方へ
夏休み期間中、子ども達の自由時間が多くなる分、危ない目に遭う危険が高くなります。大人が、子どもにどんな危険があるのか丁寧に指導し、子ども自身が自分の身を守るために必要なことを教えてあげてください。

問合せ先 八峰消防署 ☎76-3119